

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

| 視点 | 4年間の目標 (平成28年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | |
|-------------------|---|--|--|--|
| | | | 具体的な方策 | 評価の観点 |
| 1 教育課程 学習指導 | ①基礎学力の定着、課題発見解決力の育成を目指した教育課程編成及び授業改善に取り組む。 ②学校行事や生徒会活動における生徒の主体的な取組みを推進する。 | ①様々な学習の機会を提供し、学習習慣の定着を図る。生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。 ②体育祭・文化祭・合唱祭及び生徒会活動のさらなる活性化をとおして主体性や社会性、豊かな人間性の涵養を図る。 | ①土曜日や長期休業中の講習、キャリアアップ講座等を充実させ、学習意欲を向上させる。授業改善に向けた各教科の具体的な目標・手立てを再構築し、組織的な授業改善に取り組む。 ②生徒が、実行委員会等の組織における役割を意識して取り組むよう指導し、主体的な取組をとおしてリーダーシップを育むなど人材の育成を図る。 | ①実力アップ講習やキャリアアップ講座の開講講座数や受講生徒数が前年度を上回ることができたか。 ②学校評価アンケートの学校行事・部活動等において、「主体的に取り組むことができたか」等の項目について、肯定評価80%以上を達成できたか。 |
| 2 生徒指導・支援 | ①部活動の活性化を通し、責任感や連帯感の涵養を図る。 ②生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図り、心身の成長を支援する。 | ①部活動のさらなる活性化をとおして主体性や社会性、豊かな人間性の涵養を図る。 ②生徒への支援体制について情報共有を密にし、さまざまな機関との連携や活用を図るなど、さらに組織的な対応を図る。 | ①部活動指導において、活動目標を明確化し、部員一人ひとりが組織の一員として責任ある行動を取り活動の目標が達成できるよう支援する。 ②教育相談に関する校内ガイドラインなどを策定し、組織的に対応ができるようにする。また、スクールカウンセラー及び外部の相談機関、専門医療機関、支援教育地域連絡協議会等との積極的な連携や活用を図る。 | ①学校評価アンケートの部活動取組状況や満足度等について肯定評価80%を達成できたか。 ②学校評価アンケートの生徒指導等に関する項目について、肯定評価80%以上を達成できたか。ケース会議等の実施状況の充実度はどうか。 |
| 3 進路指導・支援 | 高い進路希望実現に向け、生徒がグローバルな視点を持って将来を設計出来るよう、自らのキャリア発達を意識できる、3年間を見通した進路指導の充実を図る。 | ①生徒の高い進路希望の実現を目指すため、進路指導の一層の充実を図る。 ②グローバル教育の充実及び拡充、知的好奇心(興味関心)に対応できる教育活動の展開を図る。 | ①3年間を見通した「進路指導プログラム」に確実に取り組むとともに、本校の教育改革に対応した新たな教育活動全般を見通した「新・進路指導プログラム」を策定する。 ②外部教育機関等を活用したキャリアアップ講座、国際理解教育、科学と文化(総合的な学習の時間)、インターンシップ等をとおして、グローバルな視点を持ち、社会貢献への意欲を高め、具体的な将来像を描けるよう支援する。 | ①面談や進路説明会等が有効であったか。センター試験結果、難関大合格状況(難関大10名以上)、現役進学率(国公立30%、早慶上理も含み50%)の達成状況はどうか。「新・進路指導プログラム」は策定は進んだか。 ②各教育活動の実施回数と満足度はどうか。 |
| 4 地域等との協働 | 保護者や地域、大学等外部機関、行政機関等との協働連携を促進し、本校教育力の向上を図る。 | 保護者や地域、大学等外部機関、行政機関等との協働連携を促進し、本校教育力の向上を図る。 | ①本校の教育活動について、保護者、地域など、より広く情報発信に努める。 ②行政機関、大学研究機関、地域、民間等と連携した教育活動の充実を図る。 | ①本校の情報発信に対するアンケート結果はどうか。 ②外部機関や講師の活用状況、保護者・生徒の満足度等の結果はどうか。 |
| 5 学校管理 学校運営 | ①教育環境の変化に迅速に対応し、前向きに課題に取り組む学校文化づくりをとおし、魅力と活気ある学校づくりに取り組む。 ②円滑で効率的な学校運営に取り組むとともに、安全安心な教育環境の整備を推進する。 | ①教育環境の変化に迅速に対応し、前向きに課題に取り組む学校文化の定着を図り、魅力と活気ある学校づくりに取り組む。 ②円滑で効率的な学校運営に取り組むとともに、安全安心な教育環境の整備をさらに推進する。 | ①教育環境の変化や新たな課題等を共有するための会議等の活用や校内研修等を開催し、職員の組織的な教育活動の推進に資する。 ②ICTの効果的な活用などにより、より一層の情報共有化や校務の効率化を図る。事故防止の計画的な実施、施設・設備の安全確認、防災マニュアルの見直し、防災用品の補充・整備等を継続的に行う。 | ①会議等の活用状況や校内研修会等の実施回数と充実度はどうか。 ②円滑な改善の視点を持って校務の効率化を図れたか。事故防止会議の実施回数等はどうか。防災対策やマニュアルのさらなる見直し、防災用品の補充・整備等の状況はどうか。 |